



お世話になります 紹介式 1学期始業式

平成31年度のスタートとなる4月6日（土）に本年度本校に着任した先生方の紹介式を行いました。着任された先生方は次の通りです。

副校長	八重畑	先生	<数学>
	中部教育事務所主任指導主事より昇任		
教諭	玉澤	先生	<国語>
	二戸市立福岡中学校より		
教諭	浅利	先生	<音楽>
	一関市立萩荘中学校より		
教諭	新沼	先生	<社会>
	新採用		
主任主査	草野	先生	<学校事務>
	金ヶ崎町立三ヶ尻小学校より		
非常勤講師	及川	先生	<社会>
	学校生活サポートとして		
非常勤特別支援	及川	先生	
スクール・ソーシャル・ワーカー			(非常勤)
	菊地	先生	
ELT	Daniel	先生	(ダニエル)
特別支援員	石川	先生	
学校適応相談員	小田嶋	先生	

この他に、学校生活サポートの非常勤講師とスクール・サポート・スタッフの非常勤職員が配置される予定です。どうぞよろしくお願いします。

新しいスタッフを加えた教職員一同が一丸となって、生徒諸君の健やかな成長を支えて参ります。

ともに頑張りましょう！

金ヶ崎町立金ヶ崎中学校
平成31年度校報
第1号
平成31年4月10日発行
文責：遠藤

紹介式に引き続き、平成31年度第1学期始業式を行いました。2年生は新たに学級編成した学級で初々しい笑顔の中で、3年生は中学校生活の最終学年をむかえる仲間たちと共に、新たな決意のもとに始業式に臨む姿が見られました。校長からは次のような話をし、1年のスタートを激励しました。

平成31年度、一か月後には令和元年となる今年度が今、正にスタートを切ろうとしています。（中略）このスタートラインに立つ諸君らと再度、金ヶ崎中学校の三つ実践を確認しておきましょう。

- 一つ目は、「授業で勝負」
- 二つ目は、「先手必勝の挨拶」
- 三つ目は、「心を耕す読書」

これは昨年度の修了式にも話しました。（中略）

一つ目の「授業で勝負」について

一つの授業は、一度きりの大切な時間と空間です。（中略）「授業で勝負」するためには、次の3ステップを実践してみましょう。

ステップ1：この授業で何を学ぶのか確認して、授業に臨むこと

授業が始まる3分前に着席し、これから学習するところの教科書を読んで何をこの時間に学ぶのかを確認してみましょう。（中略）分かるところ、分からないところをチェックして授業に臨みましょう。

ステップ2：授業中は全神経を集中し、聴き・考え・確かめること

（中略）耳を澄ませて、しっかりと聴き、自分の考えとどこが違い、どこが同じであるか確認してください。そして、新たな学びに気づいてください。

ステップ3：授業後、この時間で学んだことを再度確

認すること

授業を終え、すぐに席を離れない。再度、この時間で学んだことを思い返してみましょう。（中略）継続こそ力なりです。

二つ目の「先手必勝の挨拶」について・・・

金中生は躊躇せず、誰よりも先に挨拶をすることで、頑張るぞという意気込みを示し、あらゆる活動に積極的に取り組む姿を見せてください。（中略）一言の挨拶が人生を、進路を大きく広げたと思います。金中の誇れる姿を築き上げて欲しいと願っています。

三つ目の「心を耕す読書」について・・・・・・・

（中略）心に響いた言葉、文章を見つけることができましたか？（中略）読書について、願いがあります。図書館の本は生徒諸君全員の財産です。（中略）ルールを守らずに図書館の本を持ち出すことは全校生徒の財産を奪う、裏切り行為です。返却しましょう。

以上、三つのことを、実践することで、本校で学ぶ生徒諸君が自らを磨き高め、互いに切磋琢磨する姿に変わっていかうとする金中生の真の姿に通じるものと信じています。

第55回入学式

4月6日（土）の午後に「第55回入学式」を挙行了しました。町長高橋由一さん、町教育長千葉祐悦さんをはじめ多数の来賓そして新入生の保護者の皆さんに参列頂き、138名の新入生を激励して頂きました。校長からは次のような話をし、式辞としました。

（前段略）138名の新入生諸君。入学おめでとう。先ほどの呼名における諸君らの力強い返事には、これからの中学校生活を頑張りぬき、より良い道を切り拓こう、自分自身を磨き高めようという堅い決意が込められているように感じました。（中略）諸君らに、本校で学ぶ生徒の目指す姿を伝え、激励とします。

一つには、「基礎・基本を大切にし、学び続ける生徒」英知を身に付ける生徒 です。

二つには、「自らを愛し、他への敬いを忘れぬ生徒」 敬愛を尊ぶ生徒 です。

三つには、「常に心と体を鍛え、修練に励む生徒」 鍛錬を怠らない生徒 です。

この英知、敬愛、鍛錬つまりは知徳体のバランスを大

切にし、自らを磨き上げ成長し続け、大いなる志を実現するため、小さき路を切り拓き続ける人となることを目指してほしいと願っています。これを総じて大志拓路を目指す人、生徒と考え、理想とする金ヶ崎中学校の生徒像としました。（中略）新たな学校教育目標の下に、自らの心と体を鍛え、大いなる志を掲げ、その実現のために着実な歩みを一步一步と進めていくことを切に願っています。（中略）でも、諸君が自らの持てる力を出し切り、道を切り拓く努力を重ねている時には、必ずそばに仲間や家族、地域の方々そして先生方が居り、手を差しのべ、励まし支えてくれるはずです。大きな志を持ち、たゆまぬ努力を怠らずに一步一步着実に成長し、理想とする姿へと近づけてください。期待しています。

ここで、保護者の皆様に一言ご挨拶申し上げます。（中略）本校教職員と力を合わせ支えていかねばならないことというまでもありません。そして保護者の皆様には、日々成長していくお子さんとの距離を適度に保ちながら、見守り励まし続けていただけるようお願い申し上げます。（中略）この新たな学校づくりの取組に新入生百三十八名を加え、皆様方と共に一丸となって「大いなる志を実現するため、道を切り拓き続ける人の基盤育成を目指す」ことをお誓い申し上げます。

結びにあたり、新入生諸君に井上靖の一編の詩を贈り、式辞とします。

ほくは

マラソン競争で

白いスタート=ラインにならぶ時が好きだ。

軽くこしをうかせ

きっと遠い前方の山をうかがう

あのしゃんかんのびんと張った気持ちが好きだ。

やがてふえは囁りひびくだろう。
ほくたちはかけ出す
校庭を一周し、町をめぐり、村を通り、おかをこえる。
友をめぐりたり
友にめかれたりする。

みなぎってくる

いろいろの思いを静かにおさえて

先生のふえの合図を待っている

あの不思議に静かで、豊かな、出発の時が好きだ。